

理事長・地区担当理事座談会

平成14年4月10日(水)
東京JC事務局会議室

- 連携型社会システムの構築を目指して -
「地域と地区委員会と東京JCと」

出席者：西野晃透理事長、山 佳一副理事長(コーディネーター)
武藤誠晃第1地区担当理事、赤尾嘉晃第3地区担当理事、
石関一徳第5地区担当理事



今月は「地域と地区委員会と東京JCと」をテーマに西野理事長と23地区委員会を統括する各地区担当理事との座談会を山 副理事長のコーディネートで開催したレポートをお届けします。

東京JCの考える連携型社会システムとは・・・、地域とJCの関係とは・・・、地域の中でファーストコールドされるためには・・・等 地区委員会における今後の活動のヒントが得られることと思います。

連携型社会システムとは

山 まず、東京青年会議所の描く連携型社会システム像についてお話しいただけますか。理事長 特に地区ということと考えますと、日本の今の社会、その中の政治、経済、教育と様々な課題を解決していくためにどういった運動をしていったらいいか、そのためにどういう方法をとったらいいかという部分で、JC、行政、市民、NPO諸団体が連携して地域・社会を変えていくことを一つのシステムとして構築していかなければいけません。なぜ連携が必要なのか。今の1地区委員会30数名のメンバーで社会を変えることができるでしょうか。しかし、メンバーが単純に倍になれば効果があるというものでもありません。もし60名の運動体であれば、メンバー60名より様々な立場の考え方を持ち寄った60名の方が大きな運動ができるだろう。そんな意味で、NPOであったり地域の様々な課題に本気で取り組んでいる方々と一緒に運動していこうというところにシフトをさせ

ていただいているところです。これが連携型社会システムです。

そこで理事の方には、地区の現状と今後どのようにしてリーダーシップを図って地域の現状課題を解決して、結果的に東京を変えて、日本を変えるぐらいのものを持ち合わせているのか、その辺をお話しいただけますか。

武藤 連携というと、地域とJC、JCとJC、行政とJC、大体この3つになってくると思います。JCとJCが連携という点では、地区委員会それぞれが情報を共有して、同じような事業においては、それを生かしていけるということ非常に意義があると思います。地域とJCが連携ということにおいては、例えばNPOのように地域特性を感じながら実際に動かれている方々と連携することによって、一つの市民運動につながっていくだろうし、JCと行政が連携ということでは、地区委員会が事業をしても自己満足で終わってしまっただけでは何の意味もないわけです。それを都政・区政に働きかけて、議案として上げてもらうところまで落とし込むことによ

って、地区が変わって、都も変わって、ひいては国も変わっていくだろうと思うんです。ですから、この三つがうまく構築されてくれば、東京JCというのは物凄い存在意義があります。私も、きちとしたものを残せるような形もっていきたいと考えております。

理事長 問題抽出したところは課題があるわけだから、その課題を解決していくために、地域の条例とか都の条例、国の大きな施策といった根本のところを変えてこそ、この運動の最終目的は達成したことになると思います。そこまで踏み込んでやっていかなければJCの存在意義がない。ひいてはメンバーのやり甲斐にもつながらない。やり甲斐が感じられないから、一歩先に踏み込んだJC活動ができてないというのが現状だと思うんです。それに関連して、いかがでしょうか。

赤尾 現状は人数が減ってパワーダウンかもしれないませんが、ディスカッションをする時間があったり物事を考えていけるという面では非常なチャンスです。新しい姿のJCとして、国、

<h3>炭焼ステーキの贅を識る。</h3> <p>選ばれた良質の三田牛と磨かれた技が創る最高のおもてなしを。</p> <p>コース料理のご予約はお二人様以上でお申し込み下さい。</p>	<h3>自然の恵&ステーキは.....</h3> <p>美味さ・技術の追求</p> <p>「黒毛和牛(肉牛)」と云われる品種の産地、三田(但馬)・近江・松坂などでは、古くから血統による管理を行い、子牛より登録、氏・素性が明記され、血統書により飼育・管理されます。子牛の父・母・両方の祖父母・曾祖父母及び繁殖者が明確に解る仕組みになっております。又品質の高い黒毛和牛は少数頭を一軒当り2~3頭、多い人で10頭程度の飼育と少なく、きめ細やかな愛情を込め、育てられます。値段的には高価ではありますがこの管理された黒毛和牛の肉質を、会社創業以来追求し続けそれに見合う、焼く技術を持っていると自負しております。どうぞ美味しいステーキをお召し上がり下さい。</p>	<h3>炭焼ステーキディナー(5月コース料理)</h3> <p>温魚介パテエストラゴンソース 北海道産鮭マリネ哥利歐風 クリスピー・トマトサラダ 炉焼温パン・温野菜 但馬三田牛炭焼ステーキ 自家特製ヘルシーケーキ 特製ブレンド布ドリッポコーヒー お一人様¥18,000(税・サ別)</p> <p>旬の逸品 ・自家製スモークサーモン この時季ならではの「時不知鮭」にてご用意いたしております。 ・冷製ヴィシソワーズスープ</p> <p>アフタヌーンコース(毎日12時~5時) ・ビーフシチューコース... ¥6,000 ・ステーキコース..... ¥12,000</p>	<p>Own Peerless Beef ひとつひとつに個性があるSTEAK</p> <h3>炭焼ステーキ懐石</h3> <p>瀬戸内海産真鯛とイラン産フレッシュキャビア 房州産舌鰯のデュグレソソース 海の貴婦人サラダ 炉焼温パン・温野菜 特製三田牛炭焼ステーキ 南洋産パイナップル 特製ブレンド布ドリッポコーヒー お一人様 ¥45,000(税・サ別)</p> <p>インフォメーション 弊社の本来のスタイルはアラカルトです。旬の滋味を好みに応じて召上がって頂きますので、他にも「時不知鮭」「真穴子」「活鮑」等を入荷予定としております。お料理は市場の入荷状況により異なりますが、上記「炭焼ステーキ懐石」で一端はお分り頂けるかと存じます。 尚4/30(火)5/1(水)5/2(木)は平常営業いたしております。</p> <p>御贈答用 本店 新橋 炭焼ステーキ 謹製三田優秀牛 すきやき・しゃぶしゃぶ 塩焼用に。 又、ローストポーク等。 各店にてご予約承ります。</p>
	<p>分店 築地STEAK 103(3543)7214 営業時間12:00~23:00 定休日/第2日曜日のみ カード(DN・AX・DC・JCB他)有</p>	<p>本店 新橋田村町 103(3591)8765 営業時間12:00~23:00 定休日/日曜日・祝日 カード(DN・AX・DC・JCB他)有</p>	

TOKYO JC NEWS

~ Let's Tokyo JC 's Hot Communication ! ~



JC宣言
日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱領
われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

今、動き出す「志民社会」

— Jayceeから起こす、限りない推進力(ちから)を東京から —

2002.5.15
vol.392

VISUAL CONTENTS



理事長座談会
東京JC地区担当理事と共に2



3月例会が開催されました
環境経営の新パラダイム4



4月例会が開催されました
がんばる者が満足できる経済改革はこれだ4



国際貢献ミッション2002 in CHINA
レポート6



・特集・公開討論会について
「明るい豊かな社会の実現」に向けて7



ちょっとおじゃまします
「総合政策会議訪問」9

contents

- 5 5月例会 PR アジア太平洋国際都市会議
目黒防災フェスティバル
ブラッシュアップセミナー
- 6 関東地区会員大会、東京ブロック会員大会
2002年度選挙管理委員会が発足
- 7 中野区長選挙公開討論会 開催に向けて
- 8 2002 連携事業への扉 —スクールオアシスエリア推進に向けて—
港区国際フットサル大会
- 9 LOM便り (社)横須賀青年会議所、(社)武蔵野青年会議所
気になる1冊
- 10 委員会便り 文京区/品川区/大田区/世田谷区/墨田区/台東区
- 11 WELCOMENEWMEMBER!
- 12 せまる!! わんぱく相撲地区大会

www.tokyo-jc.or.jp

都、区に対してきちんと意見できるという方向性が明確になっているわけですから、やりがいもあるし、二歩先を目指したいいい委員会運営ができると感じております。

石関 メンバー数の減少でマンパワー不足、マネーパワーもダウンしていますが、志あるメンバーだけが残っている状況ですから、地域で活動されている方々とスムーズに意見交換ができて、具体的にやろうというときに動きやすくなっています。

NPOはNPOで独自の考え方で活動しているのですが、やはりパワー不足を感じていたり、自己満足で活動が終わっちゃっているというのが現状です。JCがそれじゃいかんと気付いた以上、「一緒にやりましょう」と声をかけてまとめていくのは地区委員会の責務だと思います。行政も、やることだけに終始してしまっている。これをいい方向に進めましょうよ、と言うのはJCがやるしかないんです。相手の持っているイメージを行動で変えていく、理解を深めていくことも必要だと思います。

地域とJCとの関係について

山 委員会をセミオープン的な形にして、外部の人が委員会に入って一緒に協議、情報共有を行いながら事業構築を図っていくことは、今後、青年会議所として可能なかどうか、可能であれば、その先に描かれるビジョンはどういったものがあると思われますか。

理事長 諸問題を解決するとき、JCという公益のスタンス、地域の中での企業人という側面、そしてPTAとして活躍している、そんな人間が本気に取り組んだらシステムや制度を変えていくことができるというのは、可能性として持っています。

武藤 結論としては、やっていくべきだと思います。ただ、地区委員会で事業を行うことによる政策としての裏付けがきちっとあってこそその事業だと思います。そこをきちっと確立して、その先に、JCも主体という中で地域の方々と一緒に同じ目的を持って協力し合っ

っていく時代であると思います。

赤尾 オープンにすれば、私どもの運動の発信はできると思います。ただ、1年間の理事長所信に基づいた政策を地区委員会が理解した上で、勉強不足であれば政策委員会との連携をきちっとした上で、オープンにしていく必要があると思います。

地区委員会のオープン化ということを考えるのであれば、区議会議員との対話会ということからスタートできるのではないのでしょうか。

石関 委員会をオープンにするといったら、行政とかと情報の共有から連携を進めるのであれば、区政連絡会議というイメージからかなという気はしています。

山 こんなふうになっていけばいいのにか、もったこうあるとこんな新しい運動展開にもなっていくだろうなというのはありますか。
理事長 総論賛成各論提案。提案をして、さらに実践をしていくのが地域・地区の役割で、実践があって初めて総論賛成、ビジョンが形成されていくなどは私と思います。



西野理事長



山崎副理事長



武藤理事



赤尾理事



石関理事

運動体としての東京JCの役割

山 まず最初に我々が必要とされる部分、求められる部分として、事業構築であったり、委員会の運動体としての役割という部分で、地区担当理事の方々として思いの部分があれば、お話しただければと思います。

武藤 それぞれの地区委員会が地域に根差した活動をしていかなければならないんですが、東京JC全体として、例えば今年は教育でいこうということを考えていてもいい時代にあるかと思います。教育と経済、教育と環境、教育と福祉とそれぞれが関係してくるはずなんです。そういったクロスマトリックス的なことを手法として用いながら、「本年度は東京JC全体としては教育でいきます、そのため各23区の委員会はこういう事業をやりますよ」という形をきちっと示していけば、これは一つの大きな市民運動ですから、行政も変わらざるを得ない状況になってくるというのが結論です。

それから、首都東京にある東京JCが国家のことを考えなかったら、どこのLOMも考えません。国民の生命と財産を守るのが国家の

役割だと思いますが、それを守っていない。国民の声はそこにあると思います。東京JCは市民のかわりにこれを代弁し行動すべきところにあると思いますので、全体として考えるのであれば、国家という機軸をきちっと持ちながら、キャピタルLOMの使命を考えながら、事業を構築していくべきだと思います。

赤尾 東京JCとしてのプライドを持つことは重要であって、その時代その時代の25歳から40歳の青年経済人が何を考えているかというのを明確に発信していくのは最も重要です。ただ考える集団ではなく、行動できる当事者集団であることを目指して、今後、きちんとした東京JCの組織づくりをしていけば、ファーストコールドは可能だと思います。

石関 教育ということを、政策的にもっと皆さんに理解される訴え方をしなければいけないし、思い切って教育をやる年なんだとか、あるいは短期のビジョンとしては、この2、3年で教育に関してここまで進んじやうぞということをやっていくべきだろうという気がします。ただ、決して教育だけを語る集団ではないということも、六大テーマの政策を明確にずっと訴え続

ける必要を理解した上でやらなければいけないと思っています。

山 最後に、ファーストコールドという点も含めて総括したお話をお願いします。

理事長 ファーストコールドというのは、我々と志を同じくする若者から我々が選ばれる魅力ある団体になっていかなければいけない。そういうJCにするために、ことし1年間形ある真剣な運動をやっていきましょうということです。我々はいいい社会、いい国、いい地域をつくるために制度を変えていく。そのために23区かつ実践をする委員会があるわけで、批判も恐れずにやっていく強い覚悟と高い志を持っていなければいけません。

キャピタルLOM、国家という部分では、東京JCとして全体としても23区の中でも、事業以外で政策を軸にした中での見解発信ができるスタンスを持っていかなければいけない。そんな可能性を持った、そして自覚と責任のあるLOMだからこそできる可能性を追い求めて、最終的にはファーストコールドされる東京JCにしていきたいと思っています。

山 ありがとうございます。

環境経営の新パラダイム 目指せ環境企業人

東京青年会議所3月例会は、「環境経営の新パラダイム 目指せ環境企業人」をテーマに、3月12日午後6時30分から会員350名が出席して京王プラザホテルで開催された。

第1部



基調講演 大木 浩氏

第1部では法務大臣政務官・下村博文氏をコーディネーターとして大木浩環境大臣の基調講演が行なわれた。下村氏が京都議定書への日本の取り組みや米国への対応に付いて尋ねると大木大臣は「米国は政権が変わって方針を受け継がないといっているが、約定国の55%が参加すれば協定として成り立つので米国が入らなくても進んでいくときっぱりと発言、さらに「循環型社会が一番望ましい姿なのでその点に熱心な企業を支援していきたい。JCの立場を生かした環境教育を国民に向かってやっていただきたい」とJCへの期待を語った。最後に東京JCメンバーへのメッセージとして「国民一人ひとりが環境問題を理解しそれに見合ったライフスタイルにしていくことが必要だ。エネルギー消費の節減、CO2の削減への行動は1億2千万人の小さな積み重ねに掛かっている。環境省でもエネルギーの節約はお金の節約でもあることを数字を上げてPRしていきたい。今日から小さな積み重ねに国民全部が参加してほしい」と呼びかけた。



コーディネーター 下村博文氏

第2部



ファシリテーター 塩澤好久君

第2部ではパネリストに山本良一東大国際・産学共同研究センター長、河野太郎衆議院議員、日興アセットマネジメント投資株式運用本部・オナ信行氏、ファシリテーター・塩澤好久東京青年会議所2001年度理事長でパネルディスカッションが行なわれた。

山本教授は「経済・国土・社会をグリーンエコノミーによって再生することが肝要で、エコ製品、エコサービスの100兆円マーケットを作り出し、金融証券のエコ・ファンド100兆円マーケットをつくり出すべきだと主張している。問題は政策の不毛にあると言わざるを得ない。65年後には異常気象による経済的損失と世界のGDPが等しくなり世界経済は破産すると言われていると環境危機を主張。これに対し河野氏は「超党派自然エネルギー促進議員連盟には300人を越えるメンバーがいて本会議で採決をしたら、自然エネルギーをもっと入れるという法案が通るはずだが、ボトルネックに抵抗勢力が一人居るというそれを動かすことができない。そうした政治メカニズムを変えていかなければいけない」と応えた。エコ・ファンドについてオナ氏は「環境対応に優れている企業、環境に関連した事業を行っている企業に投資を行うことにより収益を稼ごうというファンド。現在は約670億円の資産規模だが、自分たちの孫子の世代によりよい環境を残したい、エコ・ファンドを買うことによって環境に配慮した経営を行っている企業を応援したい」ということで買い求められていると反響のよさを解説した。



パネリスト 河野太郎氏

また河野氏は「地方議会が環境税をどんどん可



決していってほしい。議員一人ひとりを説得して、こういう条例を提案して通せ、税率は幾らということ



パネリスト 山本良一氏

23区でどんどんやってほしい。どこかの議会でその条例が議員提案で出たぞ。裏は全部JCが絵を描いてお景巻いてるぞということまで東京JCで行っていただきたい。次の総選挙で環境に役に立ちそうもない者は全部落とすというのが結論ですと述べると、山本氏は「これからは炭酸ガス、フロン、亜硫酸ガスを空気中へ出している企業は賠償責任を問われることを肝に銘じていけなければならない。危機をチャンスととらえて、厳しい環境格付けをして、優秀な企業、グリーンな企業にはヨーロッパやアメリカからグリーンマネーが日本に流れ込むようにする。我々はグリーンな製品、グリーンな技術を相手国へ輸出する。この戦略で日本経済を再生しよう」と訴えた。最後に塩澤2001年度理事長が「環境という分母の上に経済やいろんな問題が成り立っていることを今一度認識し、パラダイムをチェンジして頑張っていかなければいけない」とまとめ環境例会を開会した。



パネリスト オナ信行氏

詳細はホームページでご確認ください。
<http://www.tokyo-jc.or.jp/>

日本再生プラン 元気を出せ！ニッポン がんばる者が満足できる経済改革

東京青年会議所4月例会は、オープンフォーラムとして「国家経済戦略フォーラム・日本経済再生プラン 元気を出せニッポン!!がんばる者が満足できる経済改革はこれだ!」をテーマに、4月18日午後6時30分から文京シビックホールにて一般市民、東京JCメンバーなどおよそ1500名が出席して開催された。

詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.tokyo-jc.or.jp/>



およそ1500人の聴衆に会場は熱気に包まれました。



基調講演 伊藤忠商事 社長 丹羽宇一郎氏

2002年度5月例会(第6回アジア太平洋国際都市会議)

「国際」というテーマで「志民社会」を動かす

『21世紀のアジア～経済・環境そして平和～』

「Think Different & Act for Unity」

本例会は『21世紀のアジア～経済・環境そして平和～』と銘打ち、アジアの若きリーダー達が一堂に会し、政治体制・経済体制の違いや価値観の違いを乗り越えて(Think Different)、共通のビジョンのもと各LOM・各都市・各国・地域の思いが調和しつつ共生していけるような運動展開を推し進めていこう(Act for Unity)という趣旨のもと開催されます。

第1部として「第6回アジア太平洋国際都市会議」を行ない、第2部は通常例会として川口外務大臣からの応援メッセージや、緒方貞子元国連難民高等弁務官にビデオ出演を頂きメッセージを頂戴し、その後各参加LOM代表者によるパネルディスカッションへと進みます。

「アジア太平洋国際都市会議(Asia Pacific International City Conference)」は1997年、東京青年会議所の呼びかけにより、アジアの継続的な発展や相互理解の促進を目的として、アジアの代表的な都市の青年経済人・青年指導者が集まり、都市間で本音で議論する会議としてスタートしました。主なメンバーとしては、国際青年会議所の仲間でもあるソウル青年会議所・マニラ青年会議所・シンガポールシティ青年会議所・香港ヴィクトリア青年会議所・台北青年会議所に加え、中国からは中華全国青年連合会(中国全土の青年組織を

統括する代表的な青年団体・メンバー数約3億5000万人・胡錦濤国家副主席の出身団体)の北京・上海のメンバーも参加しております。

本例会は、昨年9月11日のアメリカ同時多発テロ発生後初めての国際会議となります。あの事件を契機に、世界で起きている矛盾は放置すれば必ず自らに災いとして降りかかり、また自国の経済発展・自国の環境保全という発想のみではもはや自国の幸せすら達成することのできない世界になっていることを、我々は強く認識するに至りました。

『21世紀のアジア/経済・環境・そして平和』～ Think Different & Act for unity～をテーマに、アジアの若きリーダー達が共通のアジアの未来像・ヴィジョンをこの会議を通じて創造し、そしてそれを実現していく覚悟を共有するための共同声明「東京宣言」を取り纏めていきます。

メンバーの皆さんも、ぜひ一緒にアジアの共通のビジョンを、参加海外LOMメンバーとともに共有し、今後のそれぞれのフィールドでの運動展開に役立てていきましょう。

国際政策担当理事 本橋喜光

場所: ホテル日航東京(港区台場)・ペガサスルーム

日時: 2002年5月16日(木)

13:30 登録開始

14:00 第1部(APICC)開会

17:30 登録開始

18:00 第2部(通常例会)開会

20:20 終了予定

20:30 懇親会開会

22:00 同 終了

応援メッセージ: 川口順子 外務大臣

ビデオメッセージ: 緒方貞子 元国連難民高等弁務官



第5回(2001年) APICC風景

PR

ブラッシュアップセミナー

開催日: 2002年6月8日(土)

時間: 午前10時開会 午後5時閉会

会場: 全国町村会館会議室

東京JCにおける会員の方々への研修を担当する会員研修委員会が、中堅メンバー向け研修として、毎年定期的開催しております「ブラッシュアップセミナー」が近づいてまいりました。この「中堅メンバー」という定義は、実は大変難しく、現在は東京JCを構成する全32委員会の副委員長、総括幹事という役

職者の方々を主な対象者としています。

このセミナーは受講者の方々に、東京JCの「理念・指針・中長期ビジョン」「運動の方向性」「事業のあるべきすがた」などについて再確認していただくものです。これによりメンバー一人一人が、常にJC運動に対する共通認識を持って、一丸となって活動していくことを促します。その結果公益社団法人として、より一層の運動推進が図れることにつなげていきたいと考えています。

また本セミナーは理事長、専務理事、副理事長ならびに東京JCの政策全般をつかさどる総合政策会議議長による受講者の方々との直接協議、質疑応

答の時間を多く設けています。昨今の厳しい経済情勢の中で、ともすればJC運動への参加意義が弱まってしまうがちですが、運動の先頭にいる理事者の高い志にふれてもらい、再度参加意識を高揚してもらえるようにも考えられています。

「今こそ我々はJC運動を推進していかなければならない」。社会情勢への問題意識から、意義ある運動展開へ。受講される方々の「意識」が「ブラッシュアップ」される研修のため、開催当日その日まで会員研修委員会は全力を傾けてまいります。

会員研修委員会 委員長 海老原智行

第1部

第1部では「元気を出せ企業人!! 民間活力を最大限に活かすときがきた」をテーマに伊藤忠商事株取締役社長・丹羽宇一郎氏が「人の所為にしないで企業自身が変わらなくてはならない」と45分間に渡って講演。

次に田上睦美東京青年会議所経済政策委員長が東京青年会議所からのプレゼンテーションとして「日本経済再生プラン 循環型金融システムの構築」と題して「税制改革、金融改革、新経済需要の創出」の3点から提言を行なった。

第2部

第2部パネルディスカッションは「抜本的構造改革の推進 改革から生れる新経済需要の創出」をテーマに、経済財政政策担当大臣・竹中平蔵氏、オリックスCEO・宮内義彦氏、衆議院議員・塩崎恭久氏、毎日新聞社編集委員・岸井成格

氏をパネリストに迎え、コーディネーター・千葉商科大学助教授・宮崎緑氏で、進めぬ不良債権処理問題、税制改革の展望、規制緩和の方向性など小泉内閣が取り組んでいる構造改革の現状と課題について突っ込んだ議論が展開された。



パネリスト 経済財政政策担当大臣 竹中平蔵氏



パネリスト オリックスCEO 宮内義彦氏



パネリスト 衆議院議員 塩崎恭久氏



パネリスト 毎日新聞社 編集委員 岸井成格氏



コーディネーター 千葉商科大学 助教授 宮崎 緑氏

国際貢献ミッション2002 in CHINA

2002年3月22日～26日 レポート



国際政策委員会では去る3月22日から26日にかけて、国際貢献ミッション事業のため中国河南省靈宝市・西安市・北京市を訪問しました。現在中国では環境問題、とりわけ砂漠化抑止が急務の課題となっています。東京JCでは昨年より、黄河流域の緑化を支援するため、30年来交流を続けてきた中華全国青年連合会(中青連)を窓口にして日本政府の基金を提供しその資金使途を検証するとともに、実際に現地へ行き植林を行なっています。また次代を担う学生を連れて行き現地の中国人学生との交流をさせ、環境を介した永続的な日中交流を目指しています。

2年目となる今回は西野晃透理事長をはじめとする東京JCメンバー、日中友好の会会員のほかにも、摂津JCやソウルJCメンバーなどの参加を実現し本事業の意義を幅広く理解して頂ける設定にしました。

1日目：靈宝市までの移動

西野晃透理事長を団長とした訪中団は11名の選抜学生とともに22日の午前、成田空港を出発しました。数日前には北京国際空港が閉鎖されるほど黄砂が吹き荒れ、日程通りの実施が危ぶまれましたが、当日は天候上のトラブルもなく無事北京に辿り着くことができました。さらに空路西安に入り、その後バスに乗り換えて植林現場のある靈宝市へ向かいました。西安からは市内の大学に通う中国の学生と合流しました。車内では日中学生同士で隣に座り、和気藹々とした雰囲気の中で靈宝までの3時間を過ごしていました。

2日目：植林活動、前回植林現場の視察、日中学生交流会

植林は黄河のすぐそばで行われ、昨年同様地元の方々との熱い出迎えを受け盛大な式典が執り行われました。その後私たちも昼食



をはさんで2回植林を行い、地元のボランティアの方に教えられながらスコップ片手にポプラの苗木などを植えました。昨年の植林現場を視察し、苗木の多くが根付いていること、枯れた苗木は新しい苗木を植え直していること、専任の管理人を置き水撒きなどきめ細かいケアを行っていることを確認できました。緑化事業では継続的なメンテナンスこそが大事であり、植林は最初の一步に過ぎないということを再認識させられました。

夕食後に行われた日中青年懇談会では、西安からの中国人学生と同行日本人学生の間で互いの国に対するイメージや日中環境問題などの意見交換がなされました。2時間程度の限られた時間ではおぼろげでしたが、経済発展と環境政策の調和をいかにとるか、また日中で協力できることは何かなど突っ込んだ議論が活発に行われました。

3日目：中学校視察、兵馬傭見学、西安へ移動

ホテルを出発後、靈宝市内にある地元の小学校を訪れました。ここは河南省でも最新の教育設備を整えているモデル校で、遠隔地からも入学希望者が多いそうで4人部屋の学生寮も完備しています。当日は日曜ということで学校は休みでしたが植林のときと同様やはり盛大な歓迎を受け、また学校側のご好意により寮生の方を中心に授業風景も再現していただきました。

世界的に有名な兵馬傭は靈宝市から西安に戻る行程の中ほどにあり、今回立ち寄ることが出来ました。兵士の彫像は当時実在した一人一人をモデルにしているといわれ、全てが別の顔をしているのには驚かされました。

夜、地元の青年連合会主催の晩餐会が行われたあと東京JCナイトを開催しました。ソウルJCメンバーとともに、上着もネクタイもはずして、飾らない楽しいひとときを過ごしました。

4日目：北京へ移動、人民大会堂にての要人会見・晩餐会

西安から空路北京へお昼戻り、日中友好の会の方々との合流しました。

「交流のハイライトである要人会見は胡啓立全

国政治協商会議副主席と西野理事長及び田中常雅日中友好の会会長をはじめとする訪中団代表との間で行われ、環境や経済などについて活発な意見交換がなされました。また胡啓立副主席から「日本と中国、東京青年会議所と中華全国青年連合会はこれからも未永く友情を育んで行きましょう。」というコメントを頂きました。

その後の晩餐会には訪中団全員が参加し日中交流を深めると同時に、日本人学生も全員で唄のプレゼントを中国語でおこない、中青連をはじめとする中国側の5日間のホスピタリティに感謝の意を伝えました。



5日目：中青連実務者会議、帰国

最終日の午前中に中青連本部にて東京JCと中青連との実務者会議が行われ、本年度の植林活動の振り返りと反省点、そして来年へつなげる上での改善点・要望などを率直に意見交換致しました。また5月に東京で行われるAPIQX(アジア太平洋国際都市会議)についても意見の擦り合わせをするとともに、中青連の積極的な参加を要請しました。

連日深夜に及ぶハードスケジュールで疲労困憊の訪中団ではおぼろげでしたが、事故もなく一人の脱落者も出さないうまく、26日午後8時成田空港へ到着、全員無事帰国することが出来ました。

最後に

この事業は来年以降も継続していく予定です。苗木の生育上どうしても3月頃の事業となってしまう仕事上の繁忙期と重なるメンバーの方も多いかと思いますが、是非一度はこの事業に参加して私達の体験を共有して頂けたらと思います。

国際政策委員会 国際貢献ミッション
副実行委員長 中島 裕

2002年度 選挙管理委員会が発足 —委員長に村田浩敏君—

東京青年会議所西野理事長は、3月度理事会で「選挙管理委員会に関する規則」第2条により右の7名を2002年度選挙管理委員に指名した。

選挙管理委員会は4月10日午後事務局会議室で第1回委員会を開催、委員長に村田浩敏君、副委員長に武藤誠晃君を互選により決定した。

2002年度選挙管理委員
委員長 村田 浩敏
副委員長 武藤 誠晃
赤尾 嘉晃
五十嵐直樹
角張 敏郎
坂口 哲也
美和健一郎

第50回関東地区会員大会

関東地区協議会 8ブロック64LOM、11000名のメンバーが一堂に会する第50回関東地区会員大会は、7月7日(日)秩父の地において開催します。

本大会では、合同研修、アワードセレモニー、フォーラム等を予定しています。特にフォーラムでは強く誇れる関東地区創造特別委員会委員長として東京JCから出向している喜多隆正君が担当します。メンバーの奮ってのご参加をお願い申し上げます。

開催日：2002年7月7日(日)

主なプログラム内容

コミュニティ育成フォーラム

『日本共同体再生 - 家庭・学校・地域の役割を考える -』

パネルディスカッション、北野 大氏(工学博士、淑徳大学教授) 多湖 輝氏(千葉大学名誉教授)

2002年度関東地区協議会アワードセレモニー(褒賞表彰式)

関東地区 8ブロック合同研修青年会議所関東地区協議会
研修期間：7月6日(土)～7日(日) 12日委員 松本正一郎

東プロ会員大会と2大講演会のご案内

6月29日(土)に東京ブロック会員大会が行われます。まず併催事業として、午前10時より1時まで教育と環境の講演会を開催します。第1部の教育は感性教育研究所所長の高橋史郎氏にお願いし、第2部では「持続可能な社会の条件 - リサイクル運動は問題の先送り?」と題しまして、名城大学商学部教授植田敦氏にお願いしています。今までの常識を覆すようなお話ですので是非聞きに来てください。

会員大会は、午後2時開会、記念フォーラム「21世紀輝く個人の創造 東京ブロック、真の発展を目指して」をスローガンに、石原都知事のご講演、そしてチーズはどこへ消えた?を題材とした自主映画を上映。その後大懇談会が行われます。

午前中の講演会は、一般の方も無料で参加いただけます。開催場所は、瑞穂ビューパークです。詳しくは東京ブロック協議会ホームページをご覧ください。

http://www.tokyo-bloc.org/

(社)日本青年会議所 関東地区
東京ブロック協議会 環境創造委員会 委員長 堀内良樹

特集 公開討論会

- 「明るい豊かな社会の実現」に向けて -



「JC運動における公開討論会の位置付け」



社団法人東京青年会議所は、一昨年の衆議院議員選挙の際に主催者として公開討論会を開催し、各選挙区における立候補予定者の方々にお集まりいただき、その政策などを語っていただきました。その後、昨年行われました都議会議員選挙・参議院議員選挙の際にも主催者として各選挙区において公開討論会を開催して参りました。一昨年の衆議院議員選挙公開討論会の開催以前からも、当会議所のメンバー有志が中心となり、各政党の党首・政策担当者を集めた公開討論会や都知事選挙公開討論会を開催してまいりました。我々は、公開討論会の開催が、我々の様々な青年会議所運動の中でも、重要な運動の一つであると考えております。

それは、当会議所は公益社団法人として「明るい豊かな社会」作りを目指し、今年「今、動き出す志民社会」を年間スローガンとして種々の活動を行っておりますが、「明るい豊かな社会」を築くためには、市民一人ひとりが志民として、政治に能動的に参加し、この社会の変革に参加していくことが重要であると考えているからです。そして、公開討論会は、市民一人ひとりに対して、志民としての能動的な政治への参加を促す上で有用な方法であると考えているからです。

なぜ「公開討論会」?



いま政治離れが叫ばれ、市民は自らが主権者であることをとすると忘れ、政治を他人事として捉え、政治に対する関心を失いつつあります。これは、投票行為というもっとも重要な政治への参画において、自らの一票では何も変わらない、また誰に投票しても社会は変わらないという諦念、そして政治が自分たちとは関係のないところで行われているという政治に対する関心の希薄さに起因するものと考えられるところです。

しかし、そのような諦念や無関心は、社会を衰退へと導きこすれ、個人個人の活力に満ちた豊かな社会の創造へと向かうことはありません。たしかに、いままでの選挙運動では、政策が語られる前にただ立候補者の氏名が連呼され、立候補者がどのような人物で、どのような政策を有するのかが直接知る機会が少ないまま投票日を迎えるということにならざるを得ませんでした。これでは、市民において、立候補者が自らの代表となる候補者なのだと思えることは極めて難しいと言わざるを得ないでしょう。

当青年会議所は、立候補予定者にお集まりいただき、われわれが立候補予定者に対してお聞きしたいことを直接公開の場でお聞きし、その政策を自らの言葉で直接語っていただき、時としてはその政策について

の議論をお互いにしていただ

くことにより、よりその立候補予定者の方々の政策や人柄を市民に直接感じ取っていただくことができ、主権者としての1票を主体的に行使していただくことができる、選挙に際しての公開討論会の開催は不可欠であると考えています。私たちは、公開討論会については、最終的には市民の手による自由な開催が行われるべきであると考えていますが、現時点においては公開討論会の開催を定着させ社会的に十分な認知を得る為にも、公益社団法人である我々青年会議所の責務であると考えていますし、また、政治的に中立の立場を常に保ってきた我々だからこそ、公開討論会に関しても公正・中立な開催を行うものと考えています。

また、単なる氏名の連呼による選挙運動ではなく、各立候補予定者の方々に具体的な政策を語っていただくことにより、まさに政策によって代表者が選ばれる選挙が行われ、その結果、市民に支持された政策によって選ばれた代表者が政治を担うことにより、政策誘導による社会の実現へと繋がるものと考えております。これは、まさに当青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものです。

「公開討論会」の目指すもの



現在、公開討論会の開催については、公職選挙法上、例えば告示日以後においては立候補者が合同で主催する立会演説会しか許されていない、つまり立候補者以外は開催することができないとか、あくまでも政治活動であるため公約に関する質問をすることができないなど様々な制約があります。主権者たる市民が、立候補者の政策などを直接聞くことができる場を自らの手で自由に設けることができることは、志民社会の形成の上でも重要なことです。当青年会議所は、公開討論会の開催を通じてその重要性を市民の皆様や政治を志す方々に広く知っていただき、公開討論会の開催が市民の手によってより自由に行い得るよう、将来的には公職選挙法の改正をも視野に入れて、積極的な運動展開を図ってきたいと考えています。

公開討論会開催の案内に接しましたならば、是非とも開場へ足を運び下さい。そして、我々の代表者としてどなたが相応しいのか、その目で確かめ、その政策に耳を傾けてください。単に選挙公報を読むだけでは、あるいは街頭演説での一方的な話を聞くだけでは得られない、貴重な情報が、新鮮な驚きがそこにはあります。そして、志民としての1票を、私たちとその子供達の豊かな明日のために投じていただきたいと思います。この国の未来は私たち自身の選択の上にあるのです。

政治行政政策委員会 委員長 古屋正隆

中野区長選挙公開討論会 開催に向けて

中野区区長選挙

本年6月9日に任期満了に伴う中野区長選挙が行われます。

JCメンバー事前勉強会

中野区は現在東京23特別区の中で最もファーストクラスの財政状況にあります。

私たち中野区委員会では、メンバーが地域の問題を自分たちの問題として捉え、冷静に分析した上で公開討論会を開催しようとする事前勉強会を行いました。委員会メンバーを4つのチームに分け、それぞれ割り振ったテーマごとに約1ヶ月に渡り中野区に関連する諸問題について分析を行い、問題点を洗い出しました。

全体の総括として、3月27日に中野区行財政改革担当部長をお招きした勉強会も開催し、現在、公開討論会の質問事項作成のためにさらに検討を繰り返しています。

最終的には6月9日の投票に際しての有効な判断材料となるように、公開討論会を盛況に開催し、有権者にわかりやすく地域の諸問題に密接に結びついた内容となるように努力をしている状況です。公開討論会を通じて中野区の抱える課題の論点をはっきりさせ、有権者の皆さんの政治や行政への関心を高めていきたいと思っております。

中野区委員会 副委員長 赤星 義彰

中野区区長選挙公開討論会(入場無料)

開催日時: 2002年5月22日(水) 18:30 受付開始 18:50 開会

開催場所: なかのZERO小ホール(JR中野駅南口徒歩5分)

主催: (社)東京青年会議所 中野区委員会

後援: 中野区政健全化区民会議

協力: 中野区聴覚障害者福祉協会



事前勉強会風景

2002連携事業への扉 -「スクールオアシスエリア推進に向けて」-

昨年から取り組みしている「スクールオアシスエリア構想」の推進も2年目を迎えます。昨年度の実際の取り組みから得られた経験をもとに、第二ステップでもある「活動の定着化」「活動の広がり」という視点を持った事業が開催されます。

4月から始まった「ゆとり教育」の一環である学校週休2日制も、地域ぐるみの教育に対する取り組みが無ければ効果は期待できません。是非東京JCの事業を通してスクールオアシスエリア構想の推進にご参加ください。

東京JCの政策

「スクールオアシスエリア」とは、学校周辺を一つの単位として捉え、学校・家庭・地域が連携して子供たちの教育にあたる、三位一体となったオアシスのような地域社会のことで

す。大人である私たちがこれまでとは違った角度から学校や教育に対して関心を持ち、

この政策をうけて

地域コミュニティ推進 連携事業の目指すもの

子供たちへの躰を含め教育を学校任せにしてきた事が、今日の青少年問題の一つの原因と言われています。

また、私たち大人が子供たちに明確な社会規範や手本となる生き方を示せずにいることが、様々な青少年問題の根源であるとも言われています。

こうした現実を改めて私たち大人が認識し、教育の問題点に対して、学校・家庭・地域のそれぞれが責任を担う事の必要性を自覚し、主体的に地域で教育に関わるという個人の意識改革と教育制度改革の両面運動を進めます。

目的を同じくする他の組織や行政との連携や地理的な垣根を越えた交流を積極的に行い、情報の共有や協働を通して、大人社会の意識改革を進め創造性豊かな教育システムの構築を目指します。

下記の5地区の委員会が
スクールオアシス推進事業を行います

主管委員会名	事業開催日時	事業名称
葛飾区委員会	7/1~8/31	かつしかWonder-School 教育から共育へ
板橋区委員会	7/13 (予定)	地域で育む公開授業
荒川区委員会	9月 (開催予定)	クリエイティブARAKAWA デジタルパーク2002
江東区委員会	9/21, 22 (予定)	KOTO寺子屋実習
中野区委員会	9/13, 27	新経済市民アカデミー in 中野

詳細はホームページでご確認ください。
<http://www.tokyo-jc.or.jp/>

港区国際フットサル大会

子供たちのワールドカップ!? 来たれ、港区国際フットサル大会へ!

港区委員会では、来る5月25日(土)に「港区国際フットサル大会」を予定しております。港区という地域特性に着眼し、外国人と日本人の子供たちにボールを通じて楽しい国際交流を図ってもらおうと、1998年に始められた本大会も例年JC内外で高い評価をいただきその発信力を高め、出場選手数、企画共に、国際色豊かな大会に成長しおかげさまで5年目を迎えることとなりました。

皆様にとって最大の関心事である今年の外国人選手の出場予定数は、メンバーによる必死な広報活動の結果、4月現在フランス・ブラジル・インド・オーストラリア・韓国・朝鮮民主主義共和国・アルゼンチン・アフリカ混成チーム・スペインを含む9カ国以上15チームのエントリーに及びました。これは過去最高数に相当します。日本人チームの選手たち、各チームの監督、コーチ、応援団、スタッフを

合わせると、その参加総数は600名に上ることが予想され、大会当日の盛り上がりがおおいに期待されることです。いよいよ私たちの「港区国際フットサル大会」も「子どもたちのワールドカップ」と称するにふさわしい大会規模に成長してきたと(社)東京青年会議所港区委員会メンバー一同、感動と共に自負しております。

また本年のもう一つの話題は、本大会がこのほど4月5日に神谷町に完成いたしました「芝給水場公園サッカー場」での柿落としイベントの一つとして開催されることです。新しい芝生の緑がそれは美しい、すばらしい新サッカー場でのゲームに参加選手達は期待に胸をふくらませていることでしょう。

過去4回の経験を礎に、更なる発信力を高め、また完成された企画で開催される「第5回港区国際フットサル大会」。志高く、心の熱い実行委員長

の指揮のもと、子供たちが楽しい国際交流を図ってくれることを目的に私たちも準備に余念のない日々を送っております。大勢の方のご来場をお待ちしております。港区委員会 総括幹事 石渡美奈



IT時代のビジネスツール・写真入り名刺!

あなたの名刺にアドレスを

“名刺からはじまるコミュニケーション”
IT時代、E-mailがビジネスにおける情報交換
ツールとなった今、E-mail・ホームページの
アドレスを伝えるのも名刺の大切な役割です。

“写真入り”だから……使い方イロイロ!

顔写真を入れて→営業マンの印象度アップ!
商品の写真を入れて→商品案内としてプチカタログに変身
お店の写真を入れて→ポイントカード、メンバーズカードに!!



DAIKO株式会社

〒130-0015 東京都墨田区横綱1-11-1
TEL 03-3621-7311 FAX 03-3621-8592
H.P.アドレス <http://www.daicol.co.jp>
E-mail: info@daicol.co.jp

ちょっと おじやます!

「総合政策会議訪問」

2002年3月20日事務局メンバーズサロン

総合政策会議と言われても大半のメンバーにとってはなじみの薄いものではないでしょうか(かく言う私もそんな一人ですが...)。実は東京JCの政策的な運動の方向性を、関賢司議長のもと毎月一度議論している、とても大切でレベルの高い会議なんです。

取材にお邪魔した3月度では、5月例会(APICC)日本におけるNPOの可能性および東京JCとの連携のあり方、都民意識調査、研修機能改革についてなどが議論されました。副理事長や政策担当理事、議題に関連の委員会メンバーが顔を揃える中、定刻に開会されJC宣言文朗読や綱領唱和といったお決まりのセレモニー。協議事項に入ると関議長から議論のポイントが説明なされた後、バズセッション(*)が開始されました。ひとつひとつの議題に対して20分という限られた時間の中で熱い議論は圧巻の一言で、これほどの迫力あるバズは初めて目の当た

りにしました。さすがは志の高い理事、委員長の集まりです。自分の知らない所で、これだけ内容の濃い会議が行なわれていた事に感動すら覚えた一日でした。

東京JC単独、委員会単独ばかりでなく、他の団体、他の委員会との連携による運動発信がますます重要になっていく昨今にあって、政策を摺り合わせ、ベクトルを揃えていく事が重要です。総合政策会議で議論された内容を各委員会、各メンバーが理解し、更に委員会に持ち帰って協議を重ねてさらに充実した内容として共有していく事は、今後ますます重要になるのではないのでしょうか。

広報特別委員会 副委員長
田賀谷 浩

*バズセッション：会議手法のひとつ。参加メンバーを数名ずつの小グループに分け、時間を定めて集中的な議論をする方法。



LOM 便り

武蔵野JC

社団法人武蔵野青年会議所は、本年おかげさまで30周年を迎えることができました。私たちは、この30年という歴史の重さをしっかりと受けとめつつ、新世紀に相応しい新たな武蔵野青年会議所の歴史を創造するため、「ありがとう30周年 Heart Warming 希望」というスローガンのもとで若い力を結集し、日本国に生きる青年としての自信と誇りを持って「希望の国・日本」を創りあげる、そのような高い志を掲げます。また地域においては、7年前の阪神淡路大震災における若者たちのボランティア・スピリットが全国的に波及しつつあります。街づくりにおいて最も大切なこと、それはこのように目に見えない温かい心の絆であり、その中から自然に生まれてくる小さな感動の数々なのです。

わが国の未来に「明るい希望の燈」を灯し、わが街の日常に「心温まる感動ムーブメント」を興したい。2002年、この2つの志をひとつに結びつけ、「Heart Warming 希望」のメッセージをわが武蔵野から発信いたします。激動の1990年代に日本人が忘れ、そして思い出したもの。それは未来への希望と心温まる感動物語です。創立30周年記念事業並びに記念式典は、まさにその復活祭です。是非、東京ブロック協議会会員の皆様の多数の御来会を楽しみにしています。ありがとうございます。

(社)武蔵野青年会議所
副理事長 渡辺智紀



横須賀JC

～アメリカの風薫るまちヨコスカ～

「横須賀」と聞いて「基地のまち」をイメージする人は多いと思います。基地の存在には賛否両論ありますが、私達横須賀JCはこの米海軍基地の存在をプラスに考え、市民のふるさと意識の向上を目的にまちづくり運動を行っています。本年で9年目となるこの運動は、参加者が身近にアメリカを感じることができ、そして横須賀の魅力を再発見できるイベントとして、米海軍基地からも選手が参加する3on3 ストリートバスケットボール大会やスケートボード全国大会、アメリカンフリーマーケットなどを「アメリカンフェスタ」と題して開催しています。本年は8月に横須賀市の行う「よこすか開国祭」のなかで開催し、市民にさらにこの運動をPRしていきます。



～新たな可能性を切り拓け

我らYOKOSUKA開国人～

(社)横須賀青年会議所はおかげさまで本年創立50周年を迎えることとなりました。

私達はこれまで歴史と伝統を築いてこられた先輩の皆様、そしてご支援いただいた地域の皆様に感謝し、そして新しい横須賀の未来を切り拓いていく「開国の精神」をもって50周年事業に取り組んでいます。その発信の場として、9月3日に記念式典・懇親会を開催致します。この50周年を機にメンバー一同更なる飛躍を目指し、挑戦をしていきます。

(社)横須賀青年会議所 理事長 根岸伸一

『文章読本』(中公文庫：中央公論社)

谷崎潤一郎著 定価¥571(税別)236ページ

世に『文章読本』なる書物がある。川端康成や三島由紀夫などの文豪によって上梓されたものから、参考書の類に至るまでその数は多く、内容は多岐にわたっている。それらの優劣については評論家にも任せるとして、ここでは谷崎潤一郎の『文章読本』をご紹介します。

これは日本文化論である。単なる文章技巧の指南書ではない。

谷崎は、その冒頭でこう述べている。『云わばこの書は、「われわれ日本人が日本語の文章を書く心得」を記したのである』。

谷崎といえは『痴人の愛』や『朧』などに代表されるように、豊麗な官能美の世界を展開する耽美主義作家として名高い。しかし、その旺盛な活動は戯曲や随筆にも及んでおり、特にここで紹介する『文章読本』と『陰翳礼讃』は、「日本的なるもの」を谷崎特有の美意識を基底

にして論じたもので、彼の著作群の中でもその趣を異にしている。

谷崎は言う、『国語というものは国民性と切っても切れない関係にあるのでありまして、日本語の語彙が乏しいことは……中略……我等の国民性がおしゃべりでない証拠であります』。

言語とは、民族の英知と伝統を収斂した1つの形、すなわち文化そのものである。とすれば、その言語を使って営みを続ける我々は、文化の継承者として、日本語、そして和文の滋味を感じておかななくてはならない。

Eメールが跋扈する時代、「メールをやることで文章がうまくなる」とうそぶく人がいる。メールは会話を文字化したに過ぎないのであって、それは書き言葉ではない。グローバルな時代だからこそ、我々は日本文化の継承者として、書き言葉を玩味習熟する必要があるのではないだろうか。

<日本の美は陰や隅のうちにあることを述べた『陰翳礼讃』も併せ読まれることをお勧めしたい>

気になる一冊



村田浩敏(むらた ひろし)
S37.4.18生 O型
91年入会、2001年度副理事長、
2002年度政策顧問「JCきっての論客!!」

委員会便り

世田谷区

世田谷区委員会委員長 大高 治

忘れていませんか？誰もが持っている優しさと思いやり。そしてあと一歩を踏み出す勇気。国、民族、文化、経済、年齢、すべてを超えて今よりもっと少し優しさを示していこう。人と人とを結びのび「優しさと思いやり」そして「あと一歩を踏み出して手を差し伸べる勇気」です。



世田谷区委員会では、「小さな思いやりと少しの勇気」という思いを、黄色のムーブメント提言としてすべての活動・事業を通じて発信致しております。5月の行事予定と致しましては、12日(日)世田谷区立総合運動場体育館に於いて第26回わんぱく相撲世田谷区大会が開催されます。16日(木)のAPICC、その後のASPAには世田谷団結の予定で臨みます。25日(土)26日(日)区立世田谷公園にて、せたがや環境まつりに協力致します。

私達世田谷区委員会委員は、明るく豊かな社会を目指して今より一歩を踏み出します。希望の光を黄色に思いを託して……。

墨田区

墨田区委員会委員長 井上 輝夫

我が墨田区委員会では、来る5月25日(土)に墨田区体育館において第26回わんぱく相撲墨田区大会を開催致します。今年の特徴は三つあり、まず一つ目は、実行委員長の猪越太一君がかつてこの大会に参加したわんぱく力士であるということです。他の誰よりも相撲を取る子どもたちの気持ちを知っており、スムーズな運営を心掛けようとする細心の注意を払っています。



二つ目は、昔の遊び場を提供し、竹とんぼや竹馬など手作りの遊び道具で子どもたちと一緒に思い出を昔の遊びを楽しんでいただきます。

三つ目は、今年初の試みとして、墨田区長杯(学校対抗戦)を行います。優勝した学校には、墨田区長より特製のトロフィーが贈られます。

また、9月1日(日)には、台東区委員会と共同で「わんぱくトライアスロン2002」を台東リバーサイドスポーツセンターで開催致します。トライアスロン競技を通じて肉体的にも精神的にもへこたれない粘り強い青少年の育成を目指します。

本年、墨田区委員会では、スリープ会員ゼロ作戦として、「ファイトだ！すまだ！！」を合言葉にメンバーひとりひとりが声を掛け合っています。懇親会の後は、必ず全員で円陣を組み「ファイトだ！すまだ！！」を大合唱しています。これをやらないと！C活動をやった気

台東区

台東区委員会委員長 佐久間淳

本年度の台東区委員会は、墨田区委員会と共に今年で15回目となります。「桜橋・わんぱくトライアスロン2002」を9月1日(日)に開催します。この事業は、スイム100m、バイク5Km、ラン2Kmと、子供の体力に合わせたミニトライアスロンを行います。



その中で、走走を目指すことにより、自己の体力の限界に挑戦し物事を成し遂げた充実感を実感してもらい、又、トライアスロンと言うスポーツのルールの中で順位を競う事で、堂々と物事に挑戦する気持ちを養ってもらいます。

又、この事業のもう一つの面として、「わんぱくトライアスロン実行委員会」を充実させていく事が急務となっています。

東京JCが持つ当事業の運営のノウハウを実行委員会へ伝えて行き主導を実行委員会へ移して、東京JCとしては、実行委員会を組織している一団体となる事を当面の目標としていきます。この事業を区民が直接運営していく事で、この街は、私達の街である。その街を良くしていくのは、自分自身であると言う気概を持ってもらえる事になると考えています。又、実行委員会が充実していく事により、「わんぱくトライアスロン」のみならず地域の子供達の為に違う側面からの活動も出来る団体となっていく事になるでしょう。

そして、秋に行われる、「エコフェスタ台東」へも、積極的に協力して、環境に対しての

文京区

文京区委員会委員長 岩崎 大



2002年度文京区委員会の主な活動は、「わんぱく相撲文京区大会」の開催協力と、一昨年、昨年と継続してきた「アシスト文京」の活動です。

わんぱく相撲は、年々参加者児童数も増え、本年度は地域のNP0団体・一般ボランティアの方々にもご協力いただき、わんぱく相撲への参加だけに終わらない「こどもと大人の集い」にするべく、内容を充実させていきたいと考えております。

「アシスト文京」の活動といたしましては本年度「食育」というテーマを取り入れ、身近なところからの教育を見つめ直したいと考えております。「食」は、教育だけでなく、益々関心の高くなってきた環境、福祉などの諸テーマとの関連もあり、さまざまな問題を取り上げていくための「切り口」として、適した題材であると考えています。本年は、講師を招いた勉強会、また地域のNP0団体と協力的な事業も進めていく予定です。

また行政との継続的な意見交換をする場を積極的に考え、6月には経済課との懇談会を予定しております。これを機に文京区内のさまざまな意見交換ができるテーブルにして行きたいと考えております。

いろいろな活動を通じて、地域に無くてはならない団体にするべく、委員会メンバー全

品川区

品川区委員会委員長 武田健三



2002年度品川区委員会では、「第26回わんぱく相撲品川区大会」を開催します。今年度は、「ひろげよう 心にとどく ありがとう」のテーマのもと、子供会による大鼓演奏や母の日にちなんだ折り紙教室を企画しています。学校5日制が導入された本年は、余暇の過ごし方においても地域社会や家族のあり方が再認識されたいと思われれます。品川区委員会は地域のインターメディアリーとして、様々な人々や団体同士の協力関係を確立し、公開討論会等への事業につなげたいと考えます。

日本経済全体並びに地域経済の不振が続いており、次世代の経済人である我々が張り切らなければいけないの思いから、様々な業種に渡るメンバー自身が講師となった自主勉強会を毎月開催しています。第1回目は総括幹事の立花俊輔君による「金融再生と不動産鑑定士の役割」と題して、不動産鑑定士の役割について現実の経済環境を絡めてお話し頂きました。第2回目は「IT産業とコーザイアの課題」と題して勉強会を行う予定です。年度末にはなんらかの報告書の形でまとめ、地域経済の活性化にむけた方策立



大田区

大田区委員会委員長 中本晴邦



こんにちは！大田区委員会です。本年度、東京青年会議所では「The First Called Tokyo JC「私たちの生活する地域から、まず最初に必要とされる東京JC」を合言葉のひとつとして活動しています。大田区委員会でも、区内の小学生を対象として四半世紀に渡って続けてきた「わんぱく相撲大田区大会」をはじめとし、さまざまな地域の活動を、関係諸団体の協力を頂き行っております。それらの活動の中で、本年度最も力を入れているのが「大田・経済コミュニティ2002」と題した事業です。

今年1月、大田区(行政)の新年会の席、区長のご挨拶の中で、大田区の特徴のひとつとして「仲間まわしの仕事の輪」という表現をされました。これは高度な工業技術を持った企業が地理的に集積していることにより、困難な仕事、大量の仕事も受注することが出来るといったことを意味します。決して好況とは言えない昨今の経済情勢の中、個人や私企業が潔くまわってしまったらどうすれば良いのか。三人寄れば文殊の知恵……という訳ではありませんが、みんなで知恵や力を出し合ったら何かしらの打開策が見えてくるのではないのでしょうか。それを実際にやってみよう！というのがこの事業の目的です。

当該事業のみならず、大田区委員会は様々なところに顔を出します。街を歩いていてイベントの看板を見つけたら、ちょっと足を止めてご覧下さい。意外なところで！大田区委

ドミニクJCI会頭が来訪 西野理事長らと会談

サルバドールドミニクJCI会頭(カトリアJC)が、4月5日午後、東京JCを表敬訪問、西野理事長、田中副理事長、長岡専務理事らと会談した。

会談では西野理事長から3月の訪中ミッションや5月のAPICCについて概略を説明、さらに仙台AS PAC、ラスベガス世界会議、中国のJCI加盟問題、EUやユーロに関してなど様々な観点から会談が行なわれた。最後に西野理事長から会頭に桜吹雪がデザインされた風呂敷をプレゼント、固い握手を交わして会談を終えた。



シニアクラブ春季例会開催 ゴルフの羽川プロ招く

東京JCシニアクラブ(渡邊佳英世話人代表)の春季例会が、4月9日午後6時30分同クラブ会員84名が出席してホテルオークラ「コンチネンタルルーム」で開催された。

渡邊佳英代表の挨拶について、プロゴルファー・羽川豊氏が「日本と世界のゴルフ事情」と題して、日本と世界とのゴルフ環境は何か違うのか、また、4月11日からのマスターズの見所などを約1時間に渡って講演した。

懇親会では松村茂氏の音頭で乾杯後、着席ピュウエスタイルで食事をどなたが歓談した。会場の一角にはビデオを利用して羽川プロの個人レッスンも開かれ、シングルプレイヤーを目指してこの時とばかりレッスンを受ける参加者が相次いだ。



信用と実績で30周年をめざして
御社の大いなる発展に貢献する

事業資金融資

○その他 不動産・動産・信用ローン・
手形割引等いたします。
信用できるサブバンクをお探しでしたら……

03-3588-0151 (代)

AWAJI

総合リース商社 茨路総業株式会社
東京都港区1-10-11
東京都港区赤坂1-8-5
http://www.awaji-sogyo.co.jp
E-mail master@awaji-sogyo.co.jp

2002年度 わんぱく相撲開催予定

第14回 わんぱく相撲 東京都大会

▶ 日時 / 6月23日(日) 9:30~ 会場 / 両国国技館

東京ブロック大会

地区・LOM名	大会名称	日時	曜日	時間	大会会場
(社)東京青年会議所港区	第26回わんぱく相撲港区大会	4月20日	(土)	9:00-16:00	港区立朝日中学校
(社)東京青年会議所足立区	第26回わんぱく相撲足立区大会	4月21日	(日)	12:00-15:00	北千住スポーツセンター
小平青年会議所	第18回わんぱく相撲小平場所	4月21日	(日)	9:00-16:00	小平市民総合体育館
清瀬青年会議所	第21回わんぱく相撲清瀬場所	4月27日	(土)	13:00-17:00	清瀬市立清瀬小学校
稲城青年会議所	第23回わんぱく相撲大会稲城場所	4月28日	(日)	8:30-15:00	稲城市立第四小学校体育館
(社)東京青年会議所新宿区	第26回わんぱく相撲新宿区大会	5月11日	(土)	10:00-17:00	新宿区立コスモックススポーツセンター
(社)東京青年会議所品川区	第26回わんぱく相撲品川区大会	5月11日	(土)	12:00-17:00	品川区立総合体育館
西東京青年会議所	第2回わんぱく相撲西東京場所	5月11日	(土)	6:00-20:00	田無神社
(社)東京青年会議所荒川区	第26回わんぱく相撲荒川区大会	5月11日	(土)	8:00-17:00	荒川総合スポーツセンター
(社)武蔵野青年会議所	第20回わんぱく相撲武蔵野場所	5月11日	(土)	9:00-17:30	武蔵野総合体育館メインアリーナ
(社)東京青年会議所葛飾区	第26回わんぱく相撲葛飾区大会	5月11日	(土)	9:30-17:00	柴又帝釈天経寺境内
(社)町田青年会議所	第21回わんぱく相撲町田場所	5月12日	(日)	12:30-14:30	サン町田旭体育館
(社)東京青年会議所台東区	第26回わんぱく相撲台東区大会	5月12日	(日)	8:00-16:00	台東リバーサイドスポーツセンター内相撲場
(社)東京青年会議所江戸川区	第26回わんぱく相撲江戸川区大会	5月12日	(日)	8:00-16:00	江戸川区総合体育館
三鷹青年会議所	第22回わんぱく相撲三鷹場所	5月12日	(日)	8:30-12:30	三鷹市役所相撲場
(社)東京青年会議所世田谷区	第26回わんぱく相撲世田谷区大会	5月12日	(日)	9:00-16:00	世田谷区立総合運動場体育館
東村山青年会議所	第21回わんぱく相撲東村山場所	5月18日	(土)	7:00-18:00	東村山市民スポーツセンター
(社)東京青年会議所大田区	第26回わんぱく相撲大田区大会	5月18日	(土)	8:00-18:00	大森スポーツセンター
(社)東京青年会議所杉並区	第26回わんぱく相撲杉並区大会	5月19日	(日)	10:00-16:00	杉並区立阿佐ヶ谷中学校
(社)東京青年会議所中野区	第26回わんぱく相撲中野区大会	5月19日	(日)	12:00-16:00	中野区立中野体育館
東大和青年会議所	第15回わんぱく相撲東大和場所	5月19日	(日)	8:00-15:30	東大和市民体育館
(社)調布青年会議所	第16回わんぱく相撲調布場所	5月19日	(日)	8:30-15:30	調布市立富士見台小学校
(社)東京青年会議所練馬区	第26回わんぱく相撲練馬区大会	5月19日	(日)	8:45-17:30	光が丘体育館
(社)東京青年会議所千代田区	第15回千代田区少年相撲大会	5月19日	(日)	9:00-15:00	千代田区立お茶の水小学校
(社)東京青年会議所中央区	第26回わんぱく相撲中央区大会	5月19日	(日)	9:00-17:00	中央区立総合スポーツセンター
(社)東京青年会議所江東区	第26回わんぱく相撲江東区大会	5月19日	(日)	9:30-17:00	江東区立深川スポーツセンター
(社)東京青年会議所墨田区	第26回わんぱく相撲墨田区大会	5月25日	(土)	10:00-17:00	墨田区体育館
(社)東京青年会議所文京区	第26回わんぱく相撲文京区大会	5月25日	(土)	12:00-18:00	文京スポーツセンター
(社)東京青年会議所渋谷区	わんぱく相撲渋谷区大会2002	5月25日	(土)	13:00-16:00	渋谷区スポーツセンター
(社)東京青年会議所目黒区	第26回わんぱく相撲目黒区大会	5月25日	(土)	13:00-17:00	目黒区中央体育館
(社)東京青年会議所豊島区	第25回わんぱく相撲豊島区大会	5月25日	(土)	9:00-13:00	豊島区立豊島体育館
(社)東京青年会議所北区	第26回わんぱく相撲北区大会	5月25日	(土)	9:00-16:00	北区滝野川体育館
昭島青年会議所	第18回わんぱく相撲全国大会昭島場所	5月26日	(日)	8:00-16:00	拝島第二小学校
(社)むさし府中青年会議所	第21回わんぱく相撲府中場所	5月26日	(日)	9:00-13:00	府中市立総合体育館相撲場
(社)立川青年会議所	第14回わんぱく相撲立川場所	5月26日	(日)	9:00-14:00	立川練成館
(社)東京青年会議所板橋区	第8回わんぱく相撲板橋区大会	5月26日	(日)	9:00-17:00	板橋区立小豆沢体育館

第18回 わんぱく相撲 全国大会

▶ 日時 / 7月28日(日) 9:00~ 会場 / 両国国技館

全国大会ブロック大会

ブロック名	主管LOM	開催回数	大会日時	曜日	開催時間	大会会場
山形	(社)東根青年会議所	10回目	6月8日	(土)	13:30-17:00	東根市立東根小学校
秋田	秋田ブロック協議会	6回目	6月9日	(日)	10:00-17:00	サンステック鹿角
福島	(社)会津青年会議所	6回目	6月9日	(日)	8:30-12:00	会津若松市相撲競技場
新潟	(社)十日町青年会議所	11回目	6月9日	(日)	9:30-15:30	十日町市総合体育館
岐阜	(社)岐阜青年会議所	10回目	6月16日	(日)	10:00-15:00	岐阜メモリアルセンター相撲場
石川	(社)七尾青年会議所	6回目	6月16日	(日)	13:00-17:00	七尾市愛宕山相撲場
青森	(社)弘前青年会議所	8回目	6月22日	(土)	10:00-13:00	青森県立武道館
静岡	(社)鷗田青年会議所	11回目	6月23日	(日)	10:00-14:00	若宮八幡宮
富山	(社)氷見青年会議所	8回目	6月23日	(日)	12:00-15:30	氷見運動公園相撲場
大分	(社)中津青年会議所	6回目	6月23日	(日)	13:00-16:00	宇佐市総合運動場
茨城	(社)常総青年会議所	8回目	6月23日	(日)	8:30-13:30	利根町役場
愛知	(社)春日井青年会議所	10回目	6月23日	(日)	9:00-12:00	春日井市総合体育館相撲場
長崎	(社)大村青年会議所	10回目	6月23日	(日)	9:00-13:00	大村神社境内相撲場
奈良	(社)大和郡山青年会議所	9回目	6月23日	(日)	9:00-14:15	大和郡山市立三の丸体育館
東京	(社)東京青年会議所	14回目	6月23日	(日)	9:30-16:00	両国国技館
千葉	(社)市原青年会議所	10回目	6月30日	(日)	9:00-16:00	市原市中央武道館
埼玉	(社)所沢青年会議所	11回目	6月30日	(日)	9:00-16:00	所沢市滝の城址公園
大阪	大阪ブロック協議会	7回目	6月30日	(日)	9:00-17:00	堺市大浜公園相撲場



©ちばてつや



わんぱく相撲
全国大会実行委員会

【問い合わせ】わんぱく相撲全国大会実行委員会
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 青年会議所会館2F
(社)東京青年会議所内 担当: 嶋田、須之内
TEL 03-5276-6161 FAX 03-5276-6160
(「わんぱく相撲」は(社)東京青年会議所の登録商標です)

